

# 火災と地震への対応

防災支援センター

## 初期消火の要点

大きな声で火災を連呼

消火器3本以上集中

最初の数分間が勝負

現場指揮官



## 火災初動対応マニュアル

火を出さないのが一番、沈着冷静な行動

- ◆ 日常から火の用心、火の元確認を徹底
- ◆ 失火した場合、大きな声で「火事だ！」と連呼→(119番通報)
- ◆ 連呼しながら消火器で初期消火
- ◆ 連呼しながら消火器を持って現場直行初期消火を加勢
- ◆ 現場指揮官
- ◆ 初期消火活動の人数把握(最適人数)
- ◆ 初期消火で火の元を断つ
- ◆ 初期消火困難と判断した場合、速やかに安全な場所に退避
- ◆ 本格的な消火に移行

防災支援センター



消防庁資料参照

## 初動対応マニュアル(防災組織)

地域で初動対応を考えましょう！

- ◆ 初期消火活動
- ◆ 火災避難場所の設定
- ◆ 救出、避難誘導、人員掌握
- ◆ 火災見物者の整理
- ◆ 火災鎮火の確認、見回り(再燃防止)
- ◆ 被災者の居場所確保、食料調達
- ◆ 大規模地震時の消防計画(自衛消防)

防災支援センター



## 日頃からの備えと避難行動(高齢者)

- ◆ ハザードマップで我が家の危険性を把握しておく
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておく(非常持ち出し袋)
- ◆ 水や食料を備蓄しておく(家)
- ◆ 揺れが治まり次第、火の始末、ブレーカー断
- ◆ 屋外待機、できれば屋内の安全なスペースで待機
- ◆ 避難支援者が来たら直ちに出発する
- ◆ 避難所では、自分で出来ることは自分でやる
- ◆ 避難所で皆と一緒に生活が困難な場合は届け出る



内閣府資料

防災支援センター

## 初動対応マニュアル(個人)

身の安全確保が一番、冷静な行動

- ◆ 安全確保  
(揺れが小さい内に机の下、ベッドの下、床下などへ移動)
- ◆ 揺れがおさまったら、火の元確認、ブレーカー断
- ◆ 外に出る。決められた集合場所(広場)へ移動
- ◆ 人員確認
- ◆ 自主防災組織として行動  
(消火活動、不明者宅の搜索)
- ◆ 大規模な余震、津波情報に注意
- ◆ 避難場所の設定、食料の確保



防災支援センター

気象庁資料

## 初動対応マニュアル(防災組織)

地域で初動対応を考えましょう!

- ◆ 集合場所へ集合(集合する広場、集合する震度等を決めておく)
- ◆ 人員確認
- ◆ 状況確認(集合者が見た近所の状況を報告)
- ◆ 未集合者宅、要支援者宅へ移動、状況確認
- ◆ 倒壊家屋からの人員救出(現場指揮官)
- ◆ 消火活動
- ◆ ひとりで避難できない人を安全な場所へ誘導
- ◆ 余震、津波、クラッシュシンโดロームに注意
- ◆ 避難場所手配、食料調達

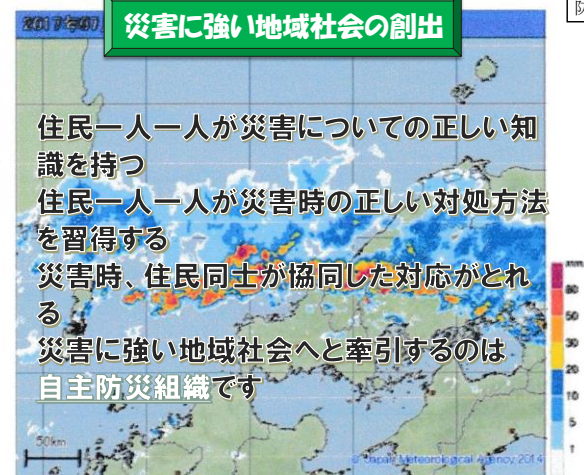


防災支援センター

消防庁資料

## 災害に強い地域社会の創出

住民一人一人が災害についての正しい知識を持つ  
住民一人一人が災害時の正しい対処方法を習得する  
災害時、住民同士が協同した対応がとれる  
災害に強い地域社会へと牽引するのは  
自主防災組織です



防災支援センター